

高等学校

教科【地歴】

単元【地理総合：地図や地理情報システムで捉える現代社会】

主体的・対話的で
深い学びのポイント

作業的で具体的な体験を伴う学習によって、地理学習の基礎的・基本的な技能を身に付けるとともに、地理学習に対する意欲を高める。

ICT活用のポイント

ウェブサイト上のデジタル地図を使うことで、効率よく生活圏の変容の軌跡を捉えることができるとともに、地理学習に対して生徒が興味・関心を高めることが期待できる。

使用するICT機器	P C、タブレット等	使用するアプリ・クラウドサービス等	G Suite (Classroom) 地理院地図 https://maps.gsi.go.jp 今昔マップ ktgis.net/kjmapw/
クラウドの活用	☒ 教材の配布・回収等 ☒ 資料等の共有 ☐ 生徒の学習状況の把握 ☐ その他（ ）		
本時のねらい	【技】 デジタル地図から地域の変容に関する情報を読み取る。 【思】 地域の変容の軌跡を把握し、変容の理由を多面的・多角的に考察する。		
	主な学習活動 (学習場面)	I C T の活用・留意点等	評価
本時の問い「私たちが暮らす地域はどのように変容しているのだろうか」			
導入	個別 ○仮説を立てる	 本時の問いに対する仮説（現時点での答え）を、Classroom上の共有シートに書き出す。	クラウド
	一斉 ○「地理院地図」「今昔マップ」の操作方法の説明を聞く	 地理院地図、今昔マップで2画面操作しながら比較する動きをプロジェクターで提示する。  ICT機器 	
展開	個別 ○新旧地形図・航空写真の比較	 各自で変容しているもの、変容していないものを抽出する。 指針1	ここで評価
			【技】 デジタル地図から地域の変容に関する情報を読み取れている。 【思】 地域の変容の軌跡を把握し、変容の理由を多面的・多角的に考察している。
まとめ	個別 ○理由の考察	 なぜ、それは、そのように変容したのかを考察する。 指針3	ここで評価
	協働 ○考察結果について話し合う		【思】 変容の理由を複数の観点から考察している。
本時の問い「私たちが暮らす地域はどのように変容しているのだろうか」の解			
終末	個別 ○振り返り	 自分の仮説がどのように変化していったかを見とることができるシートに回答（自動集計結果を授業者が確認）	クラウド

※ 表内の指針1～6は、「ICT活用授業指針」8ページにあるICT活用授業の目指す姿1～6を表しています。

※ ICTの導入が目的化しないように、ICTを活用する場面と活用しない場面を効果的に組み合わせることが重要です。

※ 評価の観点 【知】＝知識・技能 【思】＝思考・判断・表現 【態】＝主体的に学習に取り組む態度